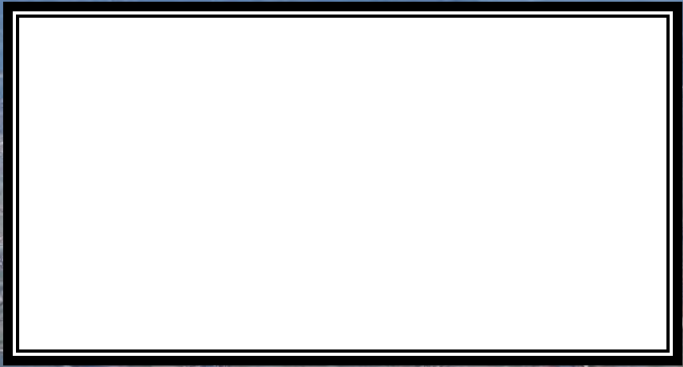


宛先



# ニュースレター

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/lora/index.html>

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/ialt/index.html>

No. 72

平成25 (2013) 年3月22日

## 平成 24 年度 第 3 回 月例勉強会開催報告



平成 25 年 2 月 8 日 (金) に本年度最後となる第 3 回月例勉強会を開催しました。堀部耕二氏 (佐賀県農山漁村課) に「佐賀県で検討している旧堤防の減災に対する可能性」という話題を提供していただき、18 名の参加者と議論が交わされました。

旧堤防の天端は高潮に対する防災効果を発揮できる高さであるため、新たな整備をすることなく防災設備として利用できることが期待されています。一方で、旧堤防は内水排除の阻害要因にもなることが指摘されるなど、課題も挙げられました。

本年度の勉強会は今回が最後ですが、来年度も引き続き開催します。低平地研究会の会員の皆様からも話題を募集していますので、積極的なご参加をお待ちしています。



## 暮らしと文化専門部会 開催報告

講演会「低平地さがのまちづくり」(空き家再生プロジェクトによる中心市街地のまちづくり)



「暮らしと文化専門部会」では、平成 24 年度事業として、平成 25 年 1 月 18 日 (金) に佐賀市役所において、株式会社オープン・エー代表取締役の馬場正尊氏をお招きし、「低平地さがのまちづくり」を演題として講演会を行いました。参加者は 46 名でした。

講演会では、佐賀のまちづくり、特に中心市街地にスポットを当てた取り組みについて、図表や写真を交えながら、分かりやすくお話をさせていただきました。また、佐賀市柳町界隈の古屋再生プロジェクトについてもご講演いただきました。佐賀市は平成 24 年度に都市デザイン課を新設し、歴史的な風情を活かした街づくりを進めていることから、たいへん参考になったという声が多数を占めました。



## 低平地研究に関する豆知識—その9—

### 「スマート・シュリンク (Smart Shrink)」

これまでの都市開発は、人口が増加するという前提のもと、市街地を拡大する方向で進められてきましたが、今後はこれまで投資してきた社会資本をいかに維持・管理し、長寿命化を図っていくかというアセットマネジメントの視点が必要になります。また、将来的には人口に対してこれまで広げてきた市街地が過大なものとなり、整備されてきた社会資本を維持することが困難になる可能性があります。そこで考えられているのがスマート・シュリンク（賢い都市撤退）です。その一つの方向性として、特に軌道系公共交通を軸に市街地を再構築し、軌道系交通から離れた市街地は緑地等に戻していくという考え方があります。しかしながら、この考え方は軌道系交通が社会基盤として整っていない場所では適用できません。また、効率性のみを追求して都市を撤退させると、地域の文化やコミュニティの継承という面から好ましくないという考え方もあります。佐賀低平地においては、特に都市間で地形的な境界が明確ではなく、都市が比較的低密度で広がり繋がっているため、将来に備えて佐賀低平地版の賢い都市撤退の在り方を考えておく必要があるのかもしれない。（豊田高専 猪八重拓郎）

### ASEAN Collaborative Lecture Program on Lowland Technology の開催報告

3月11日（月）～18日（月）にかけて本プログラムが開催され、佐賀大学、タイ、インドネシア、ベトナムの各国から講師および修士課程の学生が参加しました。これは研究に基づいた実践的な教育プログラムであり、講義だけでなく実験・演習、フィールドツアー、グループディスカッション、そして国際交流を実施するもので、学内では新しい試みです。

参加した学生らは積極的に質疑を行い、盛況の内に活動を終えることができました。また、参加した外国人講師は本学で学位を取得された方々で、さらにその方々に続く次世代の学生との関係が新たに作られるという、世代をまたいだ国際交流の成果が得られました。

最後になりましたが、本プログラムの実施にあたり

多くのご支援をいただきましたことに感謝を申し上げます。



会員 特別会員

動向 岡三リビング(株)九州支社

岡三リビングは、幅広い土木関連商品のラインナップで佐賀県下の様々な事業に関わってきました。嘉瀬川ダムでは急峻かつサーチャージ水位に影響されるがけ地での道路擁壁施工に「多数アンカー式補強土壁工法」が、有明海沿岸道路建設プロジェクトでは軟弱な有明粘土層の克服のために、単独使用も他の地盤改良工法との併用も可能な高強度ジオシンセティック「パラリンク」が採用されています。これからも弊社は佐賀の発展に尽力いたします。



### 低平地研究会活動内容・日程の案内

#### ◆ 平成 24 年度活動報告会 ◆

日時：平成 25 年 4 月 18 日 (木) 13:00～17:00

場所：佐賀大学理工学部 6 号館 (DC 棟)

多目的セミナー室

内容：

- 特別講演 今西肇 教授（東北工業大学）  
「東日本大震災から 2 年、復旧と復興の現実とこれから」
- 活動報告 企画検討部会：荒木宏之 教授  
地盤専門部会：日野剛徳 教授  
水専門部会：山西博幸 教授  
経済専門部会：大矢野栄治 教授  
歴史専門部会：吉田洋一 准教授  
暮らしと文化専門部会：池田剛 氏  
地域デザイン専門部会：三島伸雄 教授

### スタッフの離任

平成 25 年 3 月 31 日付で木梨真知子センター講師が離任され、同年 4 月 1 日より群馬工業高等専門学校で助教として勤務されます。平成 23 年 7 月から 1 年 5 ヶ月の任期中、低平地における防犯まちづくりや犯罪リスクアセスメント手法の開発および研究会運営の下支えを積極的に行っていただきました。新任地でのますますのご活躍を祈念いたします。

### 編集後記

3月31日をもってセンターを離任することになりました。次号のニューズレターからは三島講師（研究機関研究員）が編集長を引継ぎます。短期間でしたが、これまで本当にありがとうございました（木梨）。

編集担当：木梨、三島 (sk0645@cc.saga-u.ac.jp)